

**函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 第8回会議**

日時：平成30年9月3日（月） 19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

【次 第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- (1) 平成30年多職種連携研修計画の実施状況について
- (2) 研修情報一元化と提供について
- (3) センターホームページ「コラム」の掲載について

○協議事項

- (1) 第4回函館市医療・介護連携多職種研修会について

3 その他

- (1) 次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 報告事項
- 2 協議事項
- 3 多職種連携研修に関する基本方針（参考）
- 4 平成30年度多職種連携研修計画
- 5 『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会～医療関係者向け研修会～』
- 6 『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会～介護関係者向け研修会～』
- 7 コラム『専門職ができること～15職の紹介～』（参考）
- 8 第4回函館市医療・介護連携多職種研修会（案）
- 9 タイムテーブル
- 10 参加取りまとめ状況
- 11 参加者推薦依頼
- 12 研修概要書
- 13 参加者名簿（参考）

**函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会
第8回会議 出席者名簿**

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先等
分 野	公益社団法人 函館市医師会	○佐藤 静	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	岩井 祐司	戸井歯科診療所
	一般社団法人 函館薬剤師会	★副部会長 水越 英通	(株)はこだて調剤薬局(昭和店)
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	中村 真奈美 ※欠席	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
	道南在宅ケア研究会	川口 篤也	医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協 函館稜北病院
	函館地域医療連携実務者協議会	船山 俊介 ※欠席	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 医療総合サービスセンター
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	酒本 清一	独立行政法人国立病院機構 函館病院 相談支援室
	北海道柔道整復師会函館ブロック	山本 康文	山本整骨院
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	益井 基	益井東洋治療院
介 護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	渡部 良仁 ※欠席	居宅介護支援事業所 アニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	★部会長 寺田 昌弘	社会医療法人仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	高畑 智子 ※欠席	訪問看護ステーション オハナ
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

○報告事項

(1) 平成30年多職種連携研修計画の実施状況について(資料3, 4, 5, 6)

①医療関係者向け研修

5/24(函館中央病院)～96名(院内 58名, 院外 38名)

8/29(市立函館病院)～

②介護関係者向け研修

5/25～79名

8/23～65名

③オープンカンファレンス

4/26(国立病院)～147名(院内 53名, 院外 94名)

6/19(五稜郭病院)～126名(院内 21名, 院外 105名)

8/31(市立函館病院)～

(2) 研修情報一元化と提供について

H30. 4～8掲載分

センター主催 ～7件

他団体主催・共催～7件

合計14件

(3) センターホームページ「コラム」の掲載について(資料7)

○協議事項

(1) 第4回函館市医療・介護連携多職種研修会について(資料8～13)

ア 参集について

イ タイムスケジュールについて

ウ グループワークの内容について

エ 役割分担について

【 多職種連携研修に関する基本方針 】

《策定の基本認識》

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れている地域で安心して自分らしく生活していくためには、その高齢者を支える医療・介護関係者の役割は非常に重要であり、適切な支援を行うため関係者には常にそれぞれの専門職としての資質の向上が求められているほか、今日では、自らの職責を果たすだけでなく、多様な専門職との緊密な連携を図ることが重要となっている。

この多職種間の連携を推進するためには、関係者がお互いに実際に顔と顔を合わせて、顔の見える関係性を深め、自らと異なる職種の専門性や役割を理解し、尊重し合い、知識や技術を活かし合うという意識を醸成することが必要であり、また、他職種への理解を進めることは、同時に自職種の専門性や役割の更なる理解にもつながる機会となる。

また、入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取りなどの高齢者への支援が必要な様々な局面で、関係者が切れ目なくスムーズに連携するための、地域に共通の仕組みやルールを提示し、それらに関係者の中で共通のものとして理解するための取り組みが必要である。

さらに、人材育成の一環として、医療・介護関係の職種を志す学生などに対し、多職種連携の重要性を理解してもらうため早期に適切なアプローチを行うことや、在宅医療を進めるための医療・介護関係者のチーム編成に必要な事柄を多職種間で検討することが必要だと考える。

《研修の目的（テーマ）と内容》

（1）相互理解の促進 ～ 顔の見える関係性の深化とお互いの専門性や役割の理解

- ・医療関係者 ⇄ 介護関係者による研修
- ・オープンカンファレンス
- ・意見交換会の実施（平成31年度～）

（2）連携強化 ～ 関係者間の共通の仕組みやルールへの理解の促進と実践の強化

- ・看取り～看取りについての理解促進、事例報告会等
- ・入退院支援～「はこだて入退院支援連携ガイド」、「はこだて医療・介護連携サマリー」の活用促進のための学習会
- ・急変時対応～好取組事例報告会（平成31年度～）

※各団体との共催

※函館市医療・介護連携推進協議会の各部会・分科会との協働

（3）専門性の向上の取り組みへの支援と関わり

～ 各種団体や各機関・事業所、個人で実施している研修への支援と関わり

- ・各種団体等主催による研修会の広報の支援（研修情報の一元化）
- ・先進的な研修を行っている各種団体等の情報収集と研修の共催等の協力の検討
- ・出前講座の実施（在宅医療・在宅介護への理解の促進）

（4）人材育成 ～ 多職種連携を担う人材の育成

※若年層（学生等）～研修会や勉強会への見学等（平成31年度～）

※専門職～在宅医療チーム編成

《研修の形式》

下記の1, 2, 3を組み合わせて計画する

1. 規模

- ・大規模研修会（200名以上）
- ・中規模研修会（100名程度）
- ・小規模研修会（30名程度）

2. 形態

- ・座学講義型
- ・対話体験型（シンポジウム・事例検討・グループワーク等）
- ・OJT, 自己啓発→各団体, 各機関・事業所, 各個人で対応
- ・混合型

3. 対象者

- ・職種別
- ・職域別
- ・キャリアレベル別

《到達目標》

到達目標	①多職種連携における自 職種・他職種の役割が理 解できる	②多職種間のコミュニケ ーションの必要性が理解 でき、ネットワーク等を 形成できる	③多職種連携を実践し、 課題解決ができる	④多職種連携について、 （各専門職の職域におい て）指導的な立場で推進 できる
上級レベル	△	○	○	◎
中級レベル	○	◎	◎	○
初級レベル	◎	○	△	△

※キャリアレベルの目安（経験年数は多職種連携に関わっている概ねの年数とし、各個人・機関の判断とする）

上級レベル～管理者・リーダークラス

中級レベル～経験年数3年以上程度

初級レベル～経験年数3年未満程度

※到達目標を達成するための研修の場については、センターが実施する研修会等だけではなく、各種団体や各機関・事業所ごとの研修会等と協働し目標達成を目指す。

※各キャリアレベルに合わせた研修内容を継続的に実施できるよう年度計画を策定する。

《研修計画の策定と運営》

函館市医療・介護連携推進協議会および多職種連携研修作業部会と、函館市医療・介護連携支援センターとが協働して研修計画を策定し運営する。

ただし、協議会の他の部会・分科会が所掌する領域の内容の研修に関しては、その内容に対応する部会・分科会と調整または協働して運営することとし、また、研修の開催にあたってはその内容に関連する各種団体等の理解と協力を得ながら実施する。

《研修計画策定の基礎とする事柄》

○医療・介護連携推進に関するアンケート調査

（平成27年7月 函館市医療・介護連携推進協議会実施）

○グループワーク②「具体的な研修内容について」

（平成28年2月20日 函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会）

○センターの事業に含まれている内容で、連携強化のための仕組みやルールに関すること

《その他》

1. 研修会等の参加状況の把握と参加率の向上について

地域全体としての専門職の質の向上を目指すために、センター主催で実施する研修会等の参加状況を把握し、比較的参加率が低い医療機関や介護事業所に対しては、個別に訪問等を実施するなど、参加の障害となっている理由の把握に努めるとともに、研修会等の趣旨説明を併せて行うなどできるだけ理解を得られるよう努め、参加勧奨を行う。

2. 研修会等終了後のアンケート調査の実施とその活用について

研修内容の検証と評価を行うため、終了後にアンケート調査を実施して参加者の満足度や理解度などを把握するとともに、このアンケート結果を次回の研修内容や研修計画策定の際の参考とし、改善を図る。

【平成30年度 多職種連携研修計画】

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
(1) 相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 「介護保険の概要～退院を見据えた展開～」	中規模 (中央病院) (市立函館病院) (医師会病院)	座学講義 講師：京谷 佳子様	医療関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
		中規模 (テレシアター)	座学講義 講師：廣瀬 量平様	介護関係者 (訪問・通所系) (入所系) (サ付き・有料)	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	③ オープンカンファレンス 「多職種による症例の振り返りと共有」 ④ 意見交換会 ※平成31年度～	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	中級～上級	100名程度	随時
		未定	未定	未定	未定	未定	未定
(2) 連携強化	⑤ 看取り 「病院看取り・在宅看取り・施設看取りを知る」 ⑥ 入退院支援（その1） 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 ※各団体との共催 ※退院支援分科会との協働	大規模	対話体験（シンポジウム・GW） シンポジスト：未定	混合	中級～上級	200名以上	10月
		小規模	対話体験（事例検討・GW）	実務者	中級～上級	30名程度	未定
	⑦ 入退院支援（その2） 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体との共催 ※情報共有ツール作業部会との協働 ⑧ 急変時対応 ※平成31年度～	小規模	対話体験（事例検討・GW）	実務者	中級～上級	30名程度	未定
(3) 専門性の向上	⑨ 「在宅医療と在宅介護への理解の促進」 ※各団体との共催	未定	未定	未定	未定	未定	未定
		小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度	随時
(4) 人材育成	⑩ ※平成31年度～	未定	未定	未定	未定	未定	未定

平成30年7月31日

関係者各位

函館市医療・介護連携支援センター
センター長 榎木 賢三

『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会

～医療関係者向け研修会～』の開催について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、函館市医療・介護連携支援センターでは函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会の協力のもと、「相互理解」というテーマで、医療関係者には介護側の事情を、介護関係者には医療側の事情を知っていただく機会とし、お互いの距離や隔たりを縮め、顔の見える関係の中で更に連携を高めることを目的に、下記の内容で研修会を開催いたします。

なお、今年度も同テーマ、同講師にて3回研修会を開催する予定でございますので、ご都合に合わせてご出席いただきますようお願いいたします。

貴職員の皆様におかれましても、是非お誘い合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会』

～医療関係者向け研修会～

【日 時・場所】

- ① 平成30年5月24日（木）17:30～18:30（受付17:00～）
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
（住所：函館市本町33番2号 電話：52-1231）
- ② 平成30年8月29日（水）17:30～18:30（受付17:00～）
市立函館病院
（住所：函館市港町1丁目10番1号 電話：43-2000）
- ③ 平成31年2月21日（木）17:30～18:30（受付17:00～）
函館市医師会病院
（住所：函館市富岡町2丁目10番10号 電話：43-3939）

【対 象】

医療関係者

- *定員
- | | |
|------------------|------|
| ①5月24日（函館中央病院） | 120名 |
| ②8月29日（市立函館病院） | 120名 |
| ③2月21日（函館市医師会病院） | 80名 |

【内 容】

テーマ 「介護保険の概要 ～退院を見据えた展開～」
講 師 函館市地域包括支援センターゆのかわ
保健係長 京谷 佳子 様

※参加申込書にご記入の上、平成30年8月22日（水）までにご連絡をお願いいたします。

※1回目の研修会につきましては、すでに終了しております。

※3回目の研修申し込みにつきましては、再度ご案内申し上げます。

[お問い合わせ先]

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院内） 担当：長谷川
電話：43-3939 FAX：43-1199
Email：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

8 / 29 参加申込書 (F A X 通信連絡票)

送信先 : 0138-43-1199

函館市医療・介護連携支援センター

『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会』 ～医療関係者向け研修会～

平成30年8月29日(水) 17:30～18:30 (受付17:00～)

市立函館病院 (函館市港町1丁目10番1号)

◎今回の申し込みは、8/29分のみです◎

平成 年 月 日

【貴事業所名】

【サービス種別】

【TEL】

【ご担当者】

【役職・職種】	【参加者ご氏名】

※参加申込書にご記入のうえ、8月22日(水)までにご返信ください。

※定員を超える申し込みがあった場合は、失礼ながら事業所ごとの参加人数を調整させていただきます。

※事前に質問を承りますので、別紙に記入してご返信ください。

※3回目の研修申し込みにつきましては、再度ご案内申し上げます。

平成30年7月31日

関係者各位

函館市医療・介護連携支援センター
センター長 檜木 賢三

「平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会

～介護関係者向け研修会～」の開催について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、函館市医療・介護連携支援センターでは函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会の協力のもと、「相互理解」というテーマで、医療関係者には介護側の事情を、介護関係者には医療側の事情を知っていただく機会とし、お互いの距離や隔たりを縮め、顔の見える関係の中で更に連携を高めることを目的に、下記の内容で研修会を開催いたします。

なお、今年度も同テーマ、同講師にて3回研修会を開催する予定でございますので、ご都合に合わせてご出席いただきますようお願いいたします。

貴事業所職員の皆様におかれましても、是非お誘い合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会』

～介護関係者向け研修会～

- 【日 時】 ①平成30年5月25日（金）18:30～19:30（受付18:00～）
②平成30年8月23日（木）18:30～19:30（受付18:00～）
③平成31年2月頃の予定（日程未定のため後日お知らせいたします）
- 【場 所】 市営函館競輪場テレシアター
（住所：函館市金堀町10番8号 電話：51-3121）
- 【対 象】 介護関係者
①居宅サービス事業所職員（訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）
②施設・居住系事業所職員（短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設）
③サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム職員
- 【内 容】 テーマ 「病院の機能と役割について知ろう！」
講 師 独立行政法人 国立病院機構 函館病院
相談支援室 医療ソーシャルワーカー 廣瀬 量平 様

※参加申込書にご記入のうえ、平成30年8月16日（木）までにご返信をお願いいたします。

※1回目の研修会につきましては、すでに終了しております。

※3回目の研修申し込みにつきましては、再度ご案内申し上げます。

[お問い合わせ先]

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院内） 担当：長谷川

電話：43-3939 FAX：43-1199 Email：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

8 / 23 参加申込書 (F A X 通信連絡票)

送信先 : 0138-43-1199

函館市医療・介護連携支援センター

『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会』 ～介護関係者向け研修会～

平成30年8月23日(木) 18:30～19:30 (受付18:00～)

市営函館競輪場テレスシアター (函館市金堀町10番8号)

◎今回の申し込みは、8/23分のみです◎

平成 年 月 日

【貴事業所名】

【サービス種別】

【TEL】

【ご担当者】

【役職・職種】	【参加者ご氏名】

※参加申込書にご記入のうえ、8月16日(木)までにご返信ください。

※定員を超える申し込みがあった場合は、失礼ながら事業所ごとの参加人数を調整させていただきます。

※事前に質問を承りますので、別紙に記入してご返信ください。

※3回目の研修申し込みにつきましては、再度ご案内申し上げます。

函館市医療・介護連携支援センター 宛て
(FAX 0138-43-1199)

『平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会』

～介護関係者向け研修会～

事前質問票

※医療機関の病床機能，この先の医療政策の展開などについて，ご意見・ご質問がございましたら，ご自由にお書きください。

平成30年8月16日（木）締め切り

ご 質 問 内 容

※1枚に複数の質問を記入していただいてもかまいません。

貴事業所名 _____

ご担当者氏名 _____

TEL/FAX 番号 _____

専門職ができること ～15職種の紹介～

第1回 『医師』

在宅で、本人、家族の意向に伴走するために、あくまでも医療が生活を支配しないように気をつけています。

もちろん、状態変化の際に医学的なことはきちんと勘案したうえで、検査をするしない、病院にお願いするしないも含めて、何が本人にとって最善かを一緒に考えていくように努めています。病院でするような医療処置を在宅でするのが最善であれば、なんとかそれに応えるように努力します。

また、在宅医療に関わる職種の中で、訪問看護師、介護士、ケアマネジャーなどがメインに関わることになるので、医師の役割はチームが円滑に進むように邪魔をせず、いざというときは責任を取る姿勢でいることも大事ですね。

医師にしかできない仕事は、実は死亡診断書を記載することだけかもしれません。

ご回答していただいた方

道南在宅ケア研究会 幹事

医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院

副院長 総合診療科科長 かわぐち あつや 川口 篤也 様



専門職ができること ～15職種の紹介～

第2回 『看護師』

在宅で生活するなかで、医療や介護が必要になった場合に、気持ちに添ってお手伝いさせていただきます。

点滴や傷の処置、体に入っているチューブ類の管理など、皆様と一緒にいきます。

特に喜ばれているのは、24時間緊急時対応を行うということです。在宅へ戻ることを迷っている方にとっては、その対応が背中を押すことになるようです。

療養相談、助言等、いざとなれば緊急訪問して療養生活を支えます。医師、ケアマネジャー、その他の職種と連絡を良く取り合いながらすすめるので安心です。

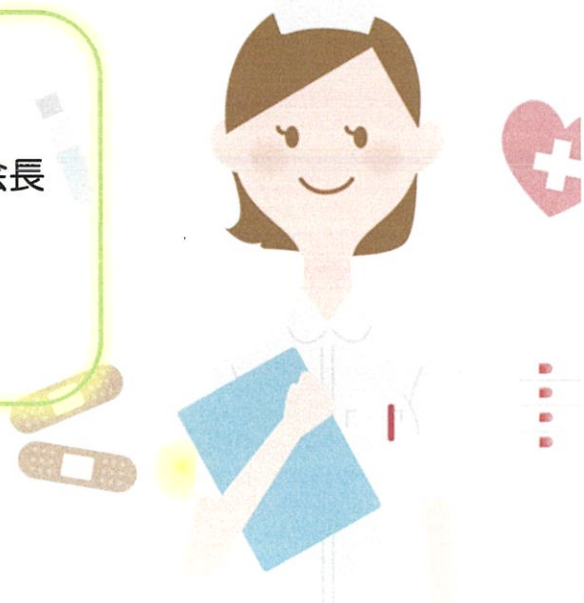
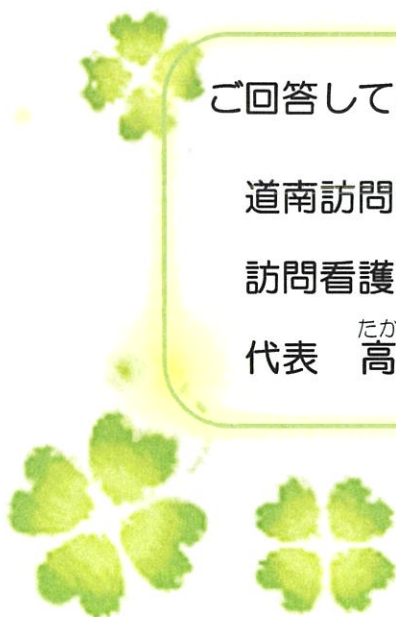
生から死まで「自分らしく生きる」ための伴走者としてお手伝いできたなら幸いです。

ご回答していただいた方

道南訪問看護ステーション連絡協議会会長

訪問看護ステーション オハナ

代表 たかはた ともこ 高畑 智子 様



第 4 回 函館市医療・介護連携推進多職種研修会（案）

日 時：平成 30 年 10 月 20 日（土）14：00～17：00

場 所：国際ホテル 2階 天平

対象者：医療・介護関係者、定員 360 名（最大 GW 240 名＋聴講席 120 名）

※昨年度の参加者推薦依頼数と実際に参加した人数をもとに今年度も協議会参加団体に依頼する
（別紙：参加とりまとめ状況参照）

↓

各団体の状況に合わせて人数等の確認をして参集依頼する（別紙：参加者推薦依頼等）

GW 参加者～協議会参加団体からの推薦で構成する

聴講のみ～協議会参加団体から 1 団体あたり 5 名ずつ＋他団体からの参集（センターに一任）

懇親会：国際ホテル（会費制 3500 円程度，17：30～19：00）

テーマ：「地域での看取りを知る～その現状とこれから～」

- 目 的：①看取りに関しての国や函館市の動向を知る
②シンポジウムによるそれぞれの場所における看取りの現状と課題を知る
③グループワークによる相互理解の促進
④研修会後の懇親会の開催

構 成：シンポジウム、グループワーク、発表（意見交換）

※別紙：タイムテーブル参照

○シンポジウム（座長：川口先生）

①看取りに関して国・函館市の動向 (5 分間)

道南勤医協函館稜北病院

副院長 川口 篤也先生

②施設医 (20 分間)

社会福祉法人函館厚生院介護老人保健施設ケンゆのかわ

施設長 老松 寛先生

③在宅医 (20 分間)

医療法人守一会北美原クリニック

理事長 岡田 晋吾先生

④病院医 (20 分間)

医療法人敬仁会函館おしま病院

院長 福德 雅章先生

○グループワーク：多職種で実施。30 テーブル（8人）

（55分間）

<テーマ>

- ・今までの経験をふまえてのシンポジウムの感想
- ・シンポジストに確認したいこと

<進め方>

- ・グループワーク説明（5分）
- ・個人ワーク（5分）
- ・個人ワーク用のメモ用紙準備してテーマにそった内容を記載してもらう
- ・各グループで司会・書記・発表者を決めて自己紹介等実施してもらう
- ・司会の進行のもと個人ワークの内容を発表，メモ用紙を模造紙に貼り付けながら意見交換，共有をはかる
- ・書記は意見交換した内容を模造紙に記載していく。同じような内容があればまとめていく。
- ・ファシリテーターからの助言のもと進める

※川口先生，ファシリテーターはテーブルを廻り，発表グループを選定する

<必要物品>

- ・個人ワーク用メモ用紙（人数分），模造紙（各テーブル1枚），ボールペン（人数分），マジック（各テーブル1本），セロハンテープ（各テーブル1つ）

○意見交換会

（25分間）

※座長（川口先生）

- ・各グループからシンポジストへ確認したいこと（GW発表～3G程度）
- ・発表はテーブルで行う
- ・講師と会場参加者との意見交換

<総評>

（15分間）

- ・各先生方（講師3名，座長）から総評いただく

※意見交換会と総評の時間配分は川口先生にお任せする

役割分担：※開会・閉会の挨拶はそれぞれ医師会長・副会長に依頼予定

総合司会～寺田部会長

事務連絡～齋藤メンバー

懇親会司会～水越副部会長

シンポジウム座長～川口先生

受け付け～センター職員，医師会病院職員

ファシリテーター～多職種研修作業部会メンバー

会場案内～センター職員，医師会病院職員

会場準備～センター職員，医師会病院職員

マイク・PC等～センター職員

今後の予定

- | | |
|-------|------------------------------|
| 8/8 | コア会議 |
| 8/9～ | 研修部会メンバーへの発信，各団体へ参加依頼人数確認 |
| 8/13～ | 各団長宛てに参加者推薦依頼の発送，案内文の発送 |
| 9/3 | 第8回研修作業部会 |
| 9/20 | 参加申し込み締め切り |
| 9/下旬 | 座長，シンポジスト打ち合わせ（シンポジスト依頼文書提出） |
| 10/上旬 | 資料等準備開始，ファシリテーター打ち合わせ |

タイムテーブル

平成30年10月20日（土） 午後2時～午後5時（開場 午後1時30分）

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間	司会
13:30	開場	サブ司会		—	司会：寺田部会長（※サブ司会 齋藤メンバー）
14:00	開会挨拶／趣旨説明	司会 本間会長	他	5分	
14:05	シンポジウム①	座長 川口先生	講演	5分	
14:10	シンポジウム②	講師 老松先生	講演	20分	
14:30	シンポジウム③	講師 岡田先生	講演	20分	
14:50	シンポジウム④	講師 福德先生	講演	20分	
15:10	休憩	司会	他	10分	
15:20	グループワーク説明	サブ司会	他	5分	
15:25	グループワーク	司会	演習	50分	
16:10	グループワーク発表・意見交換	座長 講師	演習	25分	
16:40	総評	座長 講師	他	15分	
16:55	閉会挨拶／アンケート依頼／懇親会案内	司会 恩村副会長	他	5分	
17:00	アンケート記入，会場移動（懇親会出席者）	—	他	—	
小計				180分	
17:30	懇親会	懇親会司会		90分	
19:00	（終了）				
合計				270分	

《 多職種研修会参加取りまとめ状況 》

資料 10

参集依頼人数

平成29年度研修実績

団体名	参集依頼人数		平成29年度研修実績		
	GW参加	聴講のみ	全体数	GW参加	懇親会参加
函館市医師会	若干名	若干名	2	1	1
一般社団法人 函館歯科医師会	20	5	20	17	16
一般社団法人 函館薬剤師会	12	5	9	8	7
公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	30(未定)	5(未定)	27	24	2
道南在宅ケア研究会	若干名	若干名	3	0	3
函館地域医療連携実務者協議会	15	5	14	12	3
一般社団法人 北海道ソーシャルワーカー協会 南支部	20	5	16	15	4
北海道柔道整復師会函館ブロック	10	5	10	8	10
函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	10	5	9	8	9
函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	30	5	32	31	12
函館市地域包括支援センター連絡協議会	30	5	30	28	4
函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	10	5	7	6	1
道南訪問看護ステーション連絡協議会	10	5	6	5	5
道南地区老人福祉施設協議会	15	5	21	15	10
行政（保健所）	0	5	4	0	2
事務局（センター職員・医師会病院職員他）	0	10	10	0	6
その他（栄養士，福祉用具，ヘルパー連協）	0	45	6	0	0
合計	182	115	226	178	95

定員 240 120

※看護協会様に関しては、参集方法（人数含めて）現在協議中です。

聴講のみ～各団体（栄養士会・ヘルパー連協・福祉用具・デイ協，老健協，3師会他）
来賓，事務局

平成30年8月吉日

様

函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 部会長 寺田 昌弘

函館市医療・介護連携支援センター
センター長 榎木 賢三

「第4回 函館市医療・介護連携多職種研修会」の開催について（参加者推薦依頼）

貴会におきましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当協議会では、函館市医療・介護連携支援センターと共催で、多職種の皆様を対象とした、別紙研修概要書の内容で研修会を開催することといたしました。

本研修会につきまして、貴会会員の皆様にも是非ご参加を賜りたく、参加者の推薦をお願い申し上げます。なお、参加者の職種バランスを考慮し、グループワーク参加定員を〇名、聴講のみの参加定員を5名（※）として参加を受け付けております。

※ 目安として設定させていただきましたが、他団体からの参加者の状況も確認しながら、参加人員数については柔軟に対応させていただきますので、まずは参加希望をお取りまとめいただければ幸いです。

なお、会場の都合により後日参加者の人数を調整させていただく場合もございますのでご了承ください。

※ 会場の駐車スペースには限りがございます。公共の交通機関等ご利用して頂きますようお願いいたします。

ご多用の折に大変ご迷惑をおかけしますが、定員に基づき参加者を取りまとめて頂き、別添の「参加者名簿」に記載の上、平成30年9月20日までにご連絡をお願いいたします。

[お問い合わせ先]

函館市医師会病院内

函館市医療・介護連携支援センター 担当：長谷川 奈生子

Mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

電話：43-3939 FAX：43-1199

別紙 研修概要書

名 称	第 4 回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する国や市の動向を理解する。 ・シンポジウムによるそれぞれの場所における看取りの現状と課題を知る。 ・グループワークによる相互理解の促進。 ・関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換の場として、研修会終了後に懇親会を開催する。
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター）
日 程	平成 3 0 年 1 0 月 2 0 日（土） 1 4 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0（予定） ※ 研修終了後、職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定
会 場	函館国際ホテル （函館市大手町 5 - 1 0 電話 2 3 - 5 1 5 1）
テ ー マ	「地域での看取りを知る～その現状とこれから～」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム （座長） 医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 副院長 川口 篤也先生 （シンポジスト） 社会福祉法人函館厚生院介護老人保健施設ケンゆのかわ 施設長 老松 寛先生 医療法人守一会北美原クリニック 理事長 岡田 晋吾先生 医療法人敬仁会函館おしま病院 院長 福德 雅章先生 ・グループワーク（最大 3 0 テーブル / 8 人掛け） ・意見交換
参加対象	市内の医療・介護関係者
参加人数	約 3 6 0 名（グループワーク参加 2 4 0 名、聴講のみ 1 2 0 名）
参加費用	無料（懇親会参加費用は別途徴収 ※金額は 3、5 0 0 円程度）
関係者参考	<p>【函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会】</p> <p>北海道医療ソーシャルワーカー協会 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 函館歯科医師会 函館薬剤師会 北海道看護協会 道南在宅ケア研究会 函館地域医療連携実務者協議会 北海道柔道整復師会 函館鍼灸マッサージ師連絡協議会 函館市地域包括支援センター連絡協議会 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 道南訪問看護ステーション連絡協議会 道南地区老人福祉施設協議会</p> <p>【函館市医療・介護連携支援センター】</p>
備 考	アンケート実施

①グループワーク参加者

全体	団体	氏名	ふりがな	職種	所属機関名	懇親会出欠
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

②聴講のみ参加者

全体	団体	氏名	ふりがな	職種	所属機関名	懇親会出欠
1						
2						
3						
4						
5						

※多職種研修作業部会のメンバーは、研修会当日はファシリテーターとして参加されますので、名簿への記入は不要です。